FAXニュース
ŌMIYA
JR東労組大宮地本
2020年2月28日
No. 130

大地申第12号 「2020年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ団体交渉開催！【大宮運転区分会・大宮車掌区分会】 その１

大宮地本は、２０２０年２月１９日、２１日に「２０２０年３月ダイヤ改正等について」に関する申し入れの団体交渉を行いました。今回のダイヤ改正では大きな輸送体系の変更はありませんが、新しい乗務員勤務制度が実施され、拘束時間が拡大したことなどにより乗務負担が増加していることからも、乗務員の負担軽減が目指されなければなりません。職場からの検証と組合員の声を基に議論した交渉内容の要旨です。

【大宮運転区分会・大宮車掌区分会共通】

１．武蔵浦和駅下りホーム詰所新設、上りホームのトイレの洋式化と兼用扱いを解消すること。さらに新宿駅詰所のトイレを増設すること。

◆会社回答：設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。なお、必要に応じて関係支社に要請を行っていく考えである。

会社：武蔵浦和駅ホーム上に詰所・トイレの新設は難しい。洋式化については優先順位を決め、*今年度は検修庫内の洋式化を進めている。*新宿駅詰所においては要望を伝えている。スペースが無いため難しい。

組合：１１月のダイヤ改正以降から武蔵浦和駅が拠点となっている。川越派出のトイレを借用しているが、女性は特に入りづらいとの声がある。優先順位を上げてほしい。

会社：下りホームについては出来ることを検討している。男女別の実現を考えているが、スペースなど厳しい。ホーム下に設備部の機器などもある。大崎のトイレも実態は把握している。

組合：男女兼用の解消を！女性の乗務員が我慢している。新宿駅で折り返し時間が無い。武蔵浦和駅で行くほうが良い。新宿駅の朝段落ちの場面で、トイレを待っている状況になっている。

会社：男女別に向けて検討している。他支社にも要請していく。

組合：実施前に準備を進めていくべきだ。女性乗務員が増える事を想定して設備を整備すべきだ！

会社：武蔵浦和駅折り返しが増加した。設備確認はしており、現行難しい状況である。何が出来るかを検討している。*設備を蔑ろにしている訳では無い。意見については可能な限り進めて行きたい。*

２．川越車両センター乗泊の設備が老朽化していることから改善を行うこと。

◆会社回答： 設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

組合：１１月のダイヤ改正団体交渉で「設備部が調査している」と回答があったが進捗は？

会社：*前回、カビが発生しているとあった。調査を依頼した。カビの調査を実施し進めているところ。原因を調査しており、水の侵入経路を確認しなければならない。*

組合：車掌は３階。壁紙が剥がれているので修繕もお願いしたい。部屋によってエアコンも違う。川越型は旧式。効きが弱いので改善をお願いしたい。

会社：壁紙は職場で要求してほしい。エアコンは順次取り替えを行っている。予算で一度にはできない。

組合：空調の取り替え計画はあるのか？

会社：*設備部で順位を付けて進めている。計画はある。*

組合：電気毛布など一時的な対応もできないか？

会社：予算もある。あるものを使っていただくことになる。全体的な意見は聞いているが予算もあるため声をあげていただければ出来る対応をしていく。

３．相鉄線直通運転実施以降、大幅な列車遅延が発生していることから具体的に改善すること。

◆会社回答： 関係箇所と調整を行い、改善を図ったところである。なお、引き続き必要に応じて対応していく考えである。

組合：１２月だけ見てもほぼ毎日遅延が発生している。大きな課題である。改正以前より悪化しているとの見方もある。支社の受け止めは？

会社：遅延は認識している。要因は様々あり、何が出来るかを検討している。改正以降、１月６日より夕通勤帯の新宿駅折り返し番線を変更し改善した。中央線慢性遅延防止プロジェクトを参考にしたい。

組合：遅延の理由がある。混雑や急病人などあるが、１０分の遅延が２０分に拡大する。ダイヤが出来た時点で混雑することは分かっていた。遅延対策のためにどのような検討をしたのか？

*会社：１１月ダイヤ改正で大きく変更した。新宿駅がキーポイントであり綿密に打ち合わせを行ってきた。お客さまからの分かりやすさを考え進めてきたが、実態との乖離があった。想定以上であった。*新年度の状況は変化する。微調整をかけていく。様々情報を取りながら進めて行く。FD ミーティングで職場にお邪魔し、指令や当直助役の声を聞いた。支社としても把握しているので改善に向けて、つなげていきたい。

設備現状の認識を一致！
相鉄直通の課題を検証しよう！